

漁況予報 いわし

第109号

2002年 1～2月漁期
(2002年1月15日発行)

＝ 概況 ＝

まいわし

11月のマイワシ漁況は、10日過ぎから東京湾口～相模湾東部にかけて暖水が差し込んだおかげで、大羽群が局部的に三浦半島付近に大挙来遊したため、まき網及び三浦地区の定置網で好漁となりました。12月に入ると、魚群が多少沖に滞留するようになったため、定置網では初旬に諸磯～大楠地区でまとまった漁獲があった以外目立った漁獲はありませんでしたが、まき網では引き続きまとまった漁獲がありました。この結果、主要定置網+まき網で11月は約2,400トン、12月は同1,200トンと、この時期としては記録的な漁獲量となりました。2001年のマイワシ漁獲量は、夏場に大羽イワシの来遊が極めて少なかったこともあり低調に推移しましたが、年末2ヶ月の異例な漁獲量により一気に盛り返しました。しかし、これでようやく低水準だった前年に匹敵する漁獲量となった状態で、依然厳しい漁模様と言わざるを得ないでしょう。今年も、厳しい漁模様になることには変わりないと思いますが、最近の中では比較的資源量が多いと思われる2000年級群(2歳魚)が大羽の主体となりますので、これが効果的に相模湾に来遊するようであれば、昨年を上回る漁獲が期待できるでしょう。

かたくちいわし

夏以降、全般的に極めて低調な漁模様であったカタクチイワシ漁は、11月以降になっても定置網では漁況が好転することなく終漁しました。一方、佐島地区のまき網は、11月上旬～中旬にかけてまとまった漁獲がありましたが、漁場が比較的沖だったことから、餌イワシにはせず全て市場に水揚げしました。12月に入ってから、11月中旬から始まったマイワシ漁に漁獲努力が向けられたこともあり、漁獲量は伸びませんでした。2001年のカタクチイワシ漁獲量は、定置網では、最近の傾向同様、7月以降における未成魚の漁獲が伸びない状況が続きました。まき網では、5月と11月にかなりまとまった漁獲があり、年計でも前年を上回る漁獲となりました。

しらす

11月の相模湾のシラス漁は、絶対量は少ないものの、全域で前年を上回るペースで漁が推移しました。しかし、12月に入ると一転して前年を下回る漁模様となりました。漁獲水準は、地域で多少バラツキがありましたが、50kg/統/日と低調で推移しました。このため、年末には在庫が殆どなくなる事態に至った漁家もあったようです。魚種組成は、東側では中～大カタクチシラス主体にウルメシラス混じり、奥部では中カタクチシラス主体にウルメシラス混じりでした。2001年のシラス漁獲量は、9・10月期の漁獲量が非常に少なかったものの、前年並みの漁獲量となりました。今年の春漁期については、カタクチイワシ大型成魚の資源水準が昨年に比べ低いと予想されますので、春シラスの来遊にも影響が及ぶものと思われるでしょう。

＝ 予報 ＝

まいわし

今漁期は、定置網では越冬期の小羽～中羽(2001年級群)が主体となります。まき網は、前漁期に引き続き大羽が主体となりますが、順次産卵のため沖に逸散するため、前漁期ほどの漁獲はないでしょう。今漁期の漁獲量は、約215トンと予測されます。

*縦軸：主要定置網+まき網

かたくちいわし

今漁期は、沖合から部分的に来遊する大型成魚が漁獲対象となります。本県沿岸の未成魚の資源は、昨年後半の漁況から見てかなり少ないと考えられます。また、大型成魚の来遊も散発的なもので、漁況が大きく好転するには至らないでしょう。今漁期の漁獲量は、約10トンと予測されます。

しらす

神奈川県の上りシラス漁業は、1月1日から3月10日まで禁漁です。当所では、解禁後の漁況予測のため、しらす船曳網漁業連絡協議会の協力により、禁漁期間中に漁期前調査を実施します。今回は、葉山地区と江の島片瀬地区のしらす漁業許可船を使用させて頂くことになりました。ありがとうございます。次号で経過報告をします。

本年もよろしくお祈りします！

神奈川県水産総合研究所 資源環境部
三浦市三崎町城ヶ島 (0468-82-2313)

過去5年の1・2月漁期の漁獲量と今漁期の予測量



